

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公表番号】特表2007-502706(P2007-502706A)

【公表日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-006

【出願番号】特願2006-524082(P2006-524082)

【国際特許分類】

B 09 B 3/00 (2006.01)

F 27 B 5/06 (2006.01)

【F I】

B 09 B 3/00 3 0 2 F

F 27 B 5/06 Z A B

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月14日(2007.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細長い熱分解室を備える熱分解廃棄物処理システムであって、室が、Uを10として、
U × 10⁻⁶ / 未満の熱(線形)膨張係数を有する少なくとも1つの支持体によって支持され、少なくとも1つの支持体が、セラミック材料またはフェノール材料からなる、システム。

【請求項2】

少なくとも1つの支持体が、室より下に配置される少なくとも1つのサドルを備える請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

少なくとも1つのサドルが、Xを1、5、10、20、30、50、75、90、95、99、および100として、室の長手長さのX%にわたって延びる請求項2に記載のシステム。

【請求項4】

少なくとも1つのサドルが、セラミック材料またはフェノール材料からなる請求項3に記載のシステム。

【請求項5】

室が、少なくとも1つの支持体によって吊るされる請求項1に記載のシステム。

【請求項6】

室が長手に沿って膨張および収縮することを可能にするように、室が少なくとも1つの支持体によって支持される請求項1に記載のシステム。

【請求項7】

Uが7、5、4のいずれか1つである請求項1に記載のシステム。

【請求項8】

熱分解室を使用して廃棄物を処理する方法であって、

室が処理される廃棄物を含む間、室を加熱することと、

室を加熱する間、

Uを10として、U × 10⁻⁶ / 以下の熱膨張係数を有する1つまたは複数の支持体

で室を支持することと、

室の加熱中に供給機構が結合するようには十分湾曲せずに、室が長手方向に膨張することを可能にするような方式で室を支持することとを備える方法。

【請求項 9】

1つまたは複数の支持体が、室の下に位置するセラミックサドルを備える請求項8に記載のシステム。